

令和 6 年度 売木村地球温暖化対策実行計画策定に関するアンケート (住民対象) 自由記述まとめ

※問 10、問 32 以外は同趣旨の意見は要約した。(問 32 は全掲載)

■問 10 その他進めてほしい取り組み

太陽光

- ・ 高齢世帯や古い家屋に太陽光発電等の設備を設置するのは難しいと思う。村の住宅や新築する家等への設置は積極的に進めたらよいと思う。
- ・ 太陽光パネルの問題と環境破壊の危険性を村民が知るべきだと思う。回覧板でのアンケートや集会での話し合いによる議論をおこなってもらいたい。
- ・ リサイクルの難易度が高い太陽光パネルは先々に『大きな負の遺産』として残すことになりかねないと考えます。各地域でも問題定義されている『景観』『斜面接地による法面崩落』とくにパネルが村内に点在することで村の財産でもある自然が作り出した景観が大きく損なわれます。
そういった景観や崩落など、軽量でもあるペロブスカイト太陽電池は発電量も大きく、各戸の屋根、壁面などに設置も現行モデルで不可能であったケースも解決していく技術もあります。数年後に大型ペロブスカイト太陽電池、大型の蓄電池技術を活用する事、先々に負の遺産を最小限に抑える事を念頭にロングスパンで考えるべきではないでしょうか？太陽光エネルギーの活用には反対しません、しかしたかが数年待てずに現行の太陽光パネルを『補助金ありきで村の魅力失うような設置』には反対です。
- ・ 太陽光パネルや蓄電池の廃棄の方法が埋める程度しかなく、余計に土壌を汚染する。(Web 回答)

バイオマス

- ・ こまどりの湯で太陽エネルギーやバイオマスエネルギーを使えないものでしょうか。設備投資は、何か補助金等を使えないでしょうか？
- ・ 木質以外のバイオマス（農作物の残渣等）有効活用 (Web 回答)

EV

- ・ EV 車は実用性にはまだまだだと思う。最近自動車メーカーの EV 車事業の縮小のニュースを聞くと、この先行きが心配される。
- ・ EV 車の導入は取り組みやすいが、EV 車の中古車の価値が低いなど村ではどうしようもない課題はある。太陽光も景観との兼ね合いがあるので補助金のかけ方は考える必要があると思う。

土地・農地の利用

- ・ 耕作放棄地をなくす取組を推進してほしい
- ・ 高齢者（個人）の土地を使用する場合は、設置、メンテ、減価償却、撤去を詳しく説明に貰いたいものだ。特にメンテに依る環境汚染や大雨による土壌流出の恐れ等

添付資料 2

村の政策・取り組み

- ・ まずは、「2050 年カーボンニュートラル」目標がどんなものか知ってもらい興味を持ってもらう為の施策が必要ではないかと思う。
- ・ 自然環境を名目にお金のために自然破壊をしてゆく現状維持の在り方を売木村の子供達の在り方にしてはならない。売木村の自然を残すこと、人として自然の管理者という在り方を学習し、どうしたら売木村が美しく循環し、残していけるかの学習をすべきと考えます。
- ・ 自伐林業に取り組める人材（協力隊）
- ・ 温水器をつける補助金を出して欲しい。
- ・ カーボン削減は大切だが、お金がかかることも多いことがハードルになり、取り組めないとあきらめてしまうことがあるので、補助金等の情報を提供してほしい。
- ・ 村営住宅にも薪ストーブを可能にしてほしい

その他

- ・ 小水力発電と薪ボイラーでエネルギーの100%自給を目指すべき。
- ・ 公共交通機関の利便性
- ・ 今だけの事でなく次世代を見据えた長期的な、例えば耐用年数を過ぎた太陽光発電システムや EV 車のバッテリーなどの安全処理を確立させてからの対応
- ・ 湧水の保全
- ・ 住民懇談会等を開催して、事業の重要性を理解してもらう。(Web 回答)
- ・ 光回線の導入はすでに行われているが、災害時などでライフライン（光回線）が遮断されると他地域などとの連絡ができなくなる。2024 年 1 月に打ち上がった人工衛星を利用して「4G」を直接受信できる「スターリンク」を各避難所に常設することも必要ではないか。石川県地震で使用されている。(Web 回答)

■問 12 その他の省エネ対策

- ・ 人として自然の管理者として、売木村を美しく、どう残すか。この「意識」の取り組みをしています。

【Web 回答】

- ・ 紙のごみと可燃ごみを分別して処分しています。
- ・ 家電を極力買わない。テレビを極力見ない、車に極力乗らない。
- ・ 水筒を常に持参してペットボトル飲料をなるべく買わない。

■問 12 省エネ対策に取り組めない理由

- ・ エアコンが無いため。
- ・ 家族が購入したものを捨てられずに使用している。目先の支出を少なくする為、中古品を買う事が多い。従って確かな経済比較をしていない。
- ・ すべてを電気で使用する物にはしない→災害の時のため何でもバランスだと思います。

【Web 回答】

- ・ 冷房がなく、暖房もこたつと薪ストーブしかありません。家電も中古で譲っていただいたもので、購入機会はありません。

添付資料 2

■問 15 その他の EV 非所持理由

- ・ 興味がない。
- ・ 車屋さんに提案されなかったから。
- ・ 雪山での使用、冬場の使用には向かないと聞いたから。
- ・ 冬季 EV は使えない。海外の状況をよく調べた方が良い。事故も多いので考える。音がしないのは危ない。
- ・ 冬季、山林の走行が不安なため。
- ・ 修理もメーカーに出さないといけないらしい。
- ・ 免許返納したため。
- ・ 車自体の助成金と家庭での充電設備に関わる費用を助成すると良い。
- ・ 現実、災害の時電気が止まれば終了です。購入したとしても一台は EV、一台はガソリン車にしたいと思います。
- ・ 昔の車が好きだから。
- ・ 4WD 車が無い事が多い。
- ・ 車を運転する年数も無くなろうとしている時に新車を買う意味を見出せない。完全自動運転車両が出来た時は運転免許すら無くなる。AI の台頭と成る。

【Web 回答】

- ・ 電気自動車市場のほとんどをヨーロッパが占めていることや、アメリカが関税の引き上げを行う政策が出ている中で購入するのは得策ではないと感じます。
- ・ 電気自動車のデメリットの問題も新たに出てきているから。
- ・ 実際に電気自動車が環境に良いのか疑問。
- ・ EV 車の普及により CO2 の削減にはなるが、後に廃バッテリーなどの廃棄場所の圧迫により土壌汚染が起こる。また、車体重量の増加により道路の補修の頻度が増す。道路の舗装に使う重機も EV を使うのか？

■問 18 その他の断熱対策

- ・ 春～秋に凍結防止帯コンセントを抜く。
- ・ 雨戸とガラス戸の内に障子戸をつけている。
- ・ レースカーテン
- ・ 持ち家では無いので改良を加えようとは思わない。又棲家を変える時は原型に戻す必要がある。
- ・ 電気の結露防止を 2～3 年つけたが電気代がかかるためやめました。
- ・ 借家なので傷まないような工夫はしています。

【Web 回答】

- ・ 遮光カーテンを利用している。

添付資料 2

■問 21 その他の太陽光非設置理由

- ・ その制作（政策）そのものが環境破壊につながっているから。
- ・ 借家のため。
- ・ 村内住宅のため。
- ・ 冬は太陽があまり当たらない。
- ・ 太陽の日照時間が短いので設置できない。
- ・ 停電に備えて充電器用に太陽光パネル 2 枚ある。

【Web 回答】

- ・ 設置のタイミングが無かったから。
- ・ 費用対効果が悪い。
- ・ 設置した費用を回収して利益が出そうに無いから。
- ・ 診断の結果、発電効果が薄いと判断された。
- ・ 破棄する時に環境に負荷がかかりそうだから。
- ・ 破棄する場合に困るから。
- ・ 永久ではないから。ゴミになる。もっと良い素材が使えるなら検討します。

■問 23 その他の蓄電池非設置理由

- ・ その制作（政策）そのものが環境破壊につながっているから。
- ・ 借家のため。
- ・ 村営住宅のため。
- ・ 賃貸住宅なので役場の方で支持があれば設置する。
- ・ 借家であり設置、撤去に費用を要するうえ減価償却出来るとは思えない。（年齢的なことを踏まえても）
- ・ 経済的に無理です。

【Web 回答】

- ・ 蓄電池システムの性能向上を待っている。
- ・ 永久ではない。ゴミになる。

添付資料 2

■問 25 薪ストーブ・ペレットストーブを導入していない理由

- ・ 手間がかかる。
- ・ 70 代～80 代の多い村では良い事は分かっているが先を考えると計画出来ない。
- ・ 必要性を感じない。
- ・ 今までの生活上使用する必要が無かった為。
- ・ よく分からないため。
- ・ 借家のため。
- ・ 村営住宅のため。
- ・ 賃貸住宅なので役場の方で支持があれば設置する。
- ・ 家の改造が必要。
- ・ 今の家に薪ストーブ設置は不可能と考えている。(火災の心配)
- ・ 以前導入していたが廃止。
- ・ 床暖房設置で利用している

【Web 回答】

- ・ 設置場所がないから。
- ・ 家の構造的に設置が難しい。
- ・ 薪を自前(費用 0)で導入できれば効果はあるが、そうでなければ費用対効果が悪いから。
- ・ まだ冬を売木村で過ごしていないため暖房器具を準備していない。
- ・ 火事が怖いから。

■問 27 その他の V2H 非設置理由

- ・ その制作（政策）そのものが環境破壊につながっているから。
- ・ 借家のため。
- ・ 免許を持っていないため。

【Web 回答】

- ・ 住んでいる場所のシステム上厳しいため。

■問 29 その他の再エネ推進対策

- ・ 売木村破壊につながることを考えることなので大事な事、というのは売木村の自然をどう残すかという意識と自然の管理者（人）としての行動です。選択肢①の「地域に利益が還元される仕組みをつくる」などは、さらに一部にのみ還元、優遇を拡大させ、資金の不透明につながると考えます。
- ・ 自然に配慮したソーラーパネル設置。除草剤使用禁止等。
- ・ 売木の現状ではマンパワー不足と思う。
- ・ 村は補助。エコ生活実行している方たちを参考に村や地元事業者など、地域の関係者が発電事業に参画するのは微妙。
- ・ まず問題がある事をちゃんと知る事、メリットだけを言って進めない事。売木村の自然は宝です。感謝を忘れて進める事だけはしないでください。
- ・ 景観や自然をそこなわない配慮を考えてほしい。考える会も開いてほしい。

添付資料 2

【Web 回答】

- ・ 説明会を開くよりも、その説明会で使う資料を回覧で回せばいい。
- ・ アンケートばかりではなく、事業発案時に住民説明を綿密に行うこと。
- ・ 安心して任せられるようにもしも不測の事態が発生した時の責任の所在と賠償の内容を明確にする。
- ・ 農地、空き地への太陽光パネルの設置はやめた方がいいと思います。地域に受け入れられるかを目的にしてはいけないと思います。メリット、デメリット、事実、しっかりとした情報を全て伝えることが一番大切だと思います。その後受け入れるかを住民が決めるべきです。
- ・ 設置後の解体が大変なことを聞いています。残された村民に付けが回ることのない政策をお願いします。

■問 31 その他の普及啓発活動

- ・ 結果に結果で対処しても自然破壊、売木村破壊につながるだけです。残す意識学習が大切だと思います。
- ・ EV は売木村じゃ使える気がしない。
- ・ 売木村のような農山村で、なんで温暖化防止に取り組まなくてはその意義が分からない。
- ・ 限界集落に近い高齢化社会に個人がソーラー、水力発電装置を管理、メンテ等を行うには無理がある。従って村が主体となってそれらを行う必要があると思われる。耕作放棄地の統合や土地の振替によるメガソーラーの構築の必要性を感じる。村のメリットについてもこれらの機構が動くことにより具現化するものと思われる。

【Web 回答】

- ・ 畑でゴミを焼かない。
- ・ 太陽光発電について、いろんな角度から考えて欲しい。

■問 32 売木村の将来への自由記述

再エネの取り組みについて

- ・ ソーラーパネルの発電量に対しての使用量等の具体的な説明が知りたいです。
- ・ 豊かな用水路に小水力発電設置、外灯に使用、各地区にて充電できる場所（集会所等）補助を出して屋根をソーラーにする。屋根以外は不可。瓦屋根からソーラー屋根へ、耐震にもなる EV は村内補助のみ。小型のトゥクトゥク。海外で問題山積みの EV カー、問題が解決してから。売木村で取り組むはじめの一步は小水力一択。

平野部の空き地、山林を伐採して設置、耕作放棄された農地での営農型太陽光発電、耕作中の農地での営農型太陽光発電は絶対ダメ、将来負の遺産となる。小水力を推進する。大掛かりなものは NG、個人がメンテ。

- ・ 村内だけで自給できれば（エネルギー、電気、水等）兼ねて災害時も安心できる仕組みがあれば良い。
- ・ 薪ストーブは良いと思うか？年を取ると火の始末とか薪の確保の心配が出てくる。
- ・ 脱炭素を目的とした森林整備と薪ストーブの補助を手厚くし、間伐した木材を薪にかえることで安価に薪を手に入れる仕組みを作り、薪ストーブの設置を促す。（Web 回答）
- ・ 太陽光発電や薪での発電・加温を利用した屋内農業（水耕栽培）が年間通じて行えるプラントを村が設立し村民が運営をし、地域の高齢化・税収の削減・労働力不足と就業先の確保ができる村を持続できるモノが無いと維持管理もできなくなると考えます。（Web 回答）
- ・ ソーラー発電による環境への影響など（ソーラーパネルの反射光での周囲の気温上昇問題）をきちんと考え、また地域の人々は説明し理解を得た上で導入するなどして頂きたい。（Web 回答）
- ・ 大規模太陽光発電パネルは地域の景観を乱し、山間部では山林伐採による土砂災害の危険性を孕む。業者によっては設置するときだけ熱心で、後はきちんとメンテナンスされずに放置されている事例もあり、あまり良いとは思えない。家庭や事業所等の屋根に設置する程度に留めておくべきだと思う。あと、パネルの耐用年数も気になる。パネルには有害物質も含まれており、20 数年後には廃棄ごみになるようでは本末転倒であらう。

売木村のような山林の多い地域では、酸素を生み出す樹木を守り育てることでカーボンニュートラルに寄与することのほうが有意義であると考えます。（Web 回答）

- ・ 売木村は水資源が豊富なので、小水力発電の開発が良いのでは。（Web 回答）

省エネの取り組みについて

- ・ 運転はエコドライブを心がけ、無謀なことはしない。ゴミ分別やリサイクルを今まで以上に気をつける。ゴミなどを放置しない。

添付資料 2

村の自然環境

- ・ 当アンケートは自然環境などを名目に結局は「お金」の循環の内容です。国の政策、国際的政策ではなく、強い売木村の政策として、「人として、自然の管理者」意識でどう美しく、豊かに循環させるか？がとても大切で、そうした時、自然は自然に必要なフリーエネルギーサイクルし、なにを壊すことも、広範囲に伐採することもないと考えます。売木村の自然を残すことを意識してほしい。
- ・ 今ある自然を残し自然破壊せず手つかずの里山を維持することが大切です。ソーラーもいいですが、設置するために森林伐採するなどは大反対です。大自然あふれ、四季が感じられるのがこの村のとてもいい所です。大自然だから空気も水もおいしくお米も作物もおいしいのが作れています。この自然に感謝しましょう。
- ・ 売木村には山が沢山あって材木が豊富だ。これを有効に利用する事は出来ないだろうか。所有者にも利益が出るような方法を考えてほしい。
- ・ 売木村の自然は宝です。景観、自然に生かされているという感謝を忘れないでいられる大切な場だと思います。1.使用するもののデメリットをちゃんと調べて知ること。2.ここまでは使う。この先は使用しないを決める。最後の処理までどうするかが決められない、出来ない物は使用しない。この二つは大切な事だと思うので記入させて頂きました。
- ・ 自然を残すことが一番大事だと思います。(Web 回答)

森林・木材の活用について

- ・ 森林整備（自伐林業）
- ・ 売木村といえば森林、木材です。産業として活用しながらどのように維持していくか、内外にわかりやすくPR、及び実際の施策に取り組んでいただきたいです。(Web 回答)

耕作放棄地について

- ・ 人口減少から耕作放棄地の増加は、村の環境保全が心配される。耕作できない所に太陽光パネルが設置されることにも心配がある。

村の政策・取り組み

- ・ 村民の理解を得ること。高齢者には、このアンケートさえ難しく、回答しない人が多い。
- ・ 将来負の財産とならない物で対応していくように。自然保護も視野に。
- ・ 目標に向かって取り組みを進めることは大事だと思う。村の施策に協力したいと思う反面、どんなことを行っているか実際には知らないことが多くなかなか協力することができない。協力するにあたってでもできれば内容を理解した上で、自分でできることを模索したいと思うのでそういう機会が増えるとうれしいと思う。又、環境に対しての取り組みは、村の景観等大きく変わってしまうものもあるかと思うのでできればそういった大きな変化の伴わないこと、日常生活に手軽に取り込めることから行っていただけたらうれしいと思う。村と住民が一緒に同じ歩調で進める取り組みを希望するとともに大事なのではないかと考える。
- ・ 新しい省エネの設備や技術は村が積極的に導入したり、村民に紹介したりしてくれると良いと思います。
- ・ こまどりの湯の脱化石燃料化の優先、道路舗装材の変更。融雪や路面の不凍に優れた材に変え、除雪作業の軽減、省エネ、塩カル使用量削減を通して橋の耐用年数を上げ、生態系を保全し等々、ゼロカーボンに有効。
- ・ 補助・助成を明確にし、具体的に示す。

添付資料 2

- ・ 景観や自然を損なわないこと。住民が理解できるレベルでの説明会や体験。特にマントゥーマンの情報伝達が大切。ネットは一方発信で受け手のことをもっと考えるべき。ひとりひとりがきちんと基本を理解できることが大切。それができれば誰もが実行すると思う。
- ・ 住民の理解を深め、やる気をいかに引き出すか。(Web 回答)
- ・ "補助金ありき"で事業を行わず、人生の諸先輩方は後ろ盾となり、数は少なくとも 20 代 30 代 40 代の若い世代が村の将来像を描けるようにすること。人を育てることが出来なければ将来像も描けない。(Web 回答)
- ・ このアンケートの結果を村民一人ひとりに伝えることです。(Web 回答)
- ・ 再生可能エネルギーの利用により、各家庭の光熱費の負担を減らし他地域との違いを出し、移住者を増やす。(Web 回答)

その他

- ・ 2050 年私は生きているかな？年々、地球が暑くなっているのを感じています。地球が沸騰してしまわない様に自分の出来ることはしていかなければとは思いますが。子供や孫たちの時代になっても、緑豊かな地球であります様に、祈っています。
- ・ 2050 年も売木村で米作が続いてほしい。(Web 回答)
- ・ 今までの生活スタイル (Web 回答)
- ・ 発電方法について区別なくメリットを問われるのは回答に困ります。車について言えば世界的に EV からハイブリッドに逆戻りしているようですし、情報を吟味して適切な判断をお願いします。目先のメリットにとらわれず有害物質に生活環境を脅かされない水、空気、土を次世代に残せる村であってほしいです。(Web 回答)
- ・ 各自で食べ物の自給はできても、エネルギーの自給はハードルが高い、村全体で行うことで、どんな外部環境の変化にも動じない、本当の安心で安全な生活ができる。それはまた人を惹きつける魅力があると思います。(Web 回答)